

令和元年度 提案募集項目一覧（自由提案）

	項目名	項目に関連する事業の概要等	提案を募集する背景・課題等
1	都市圏在住の本市出身者に向けた本市へのUターン促進に係る提案	市内の若者は進学・就職のタイミングで都市圏に出てしまい、戻ってこないといった現状を改善するための提案を募集するもの。	鳥取県のアンケート調査によると、鳥取県出身の大学生のうち約7割がUターンを考えているが、実際にUターンする者は約3割に留まっており、4割のギャップが生じている。県・市町村ともに試行錯誤しながら若年層のUターン施策に取り組んできているが、現状を改善するに至っていない。 また、市内の雇用情勢は、人手不足感が非常に強い状況であるため、若者のUターンが増加することで企業側にもメリットがある。
2	がん検診受診率向上のための提案	がんの早期発見・早期治療を目的に次の各種がん検診を実施。 ①胃がん検診（対象者：40歳以上） ②大腸がん検診（対象者：40歳以上） ③肺がん検診（対象者：40歳以上） ④子宮頸がん検診（対象者：20歳以上の女性） ⑤乳がん検診（対象者：40歳以上の女性／2年に1回）	「米子市健康増進計画」に基づき、がん検診受診率の向上を目指し、受診勧奨等を実施しているが、受診率は下降傾向にあり目標値に到底届かない状況にある。特に、40代・50代のいわゆる働き盛り世代については、休日検診やセット健診及び職場に出向いての受診勧奨などを行っているが、60代・70代に比較して受診者数が少ない。 アンケート結果（平成29年実施）から、「健診の重要性は認識しているが、受診行動にまで結びつかない」という人が多いことから、行動変容につながる啓発方法（発信情報の質や量）や勧奨方法（マンパワー）が求められている。
3	スポーツを通じて体力向上、健康増進を図るための提案	民間事業者と連携し、スポーツ（フィットネス、ジムワーク等）を通じて、体力向上、健康増進を図る。 民間事業者において、健康向上に有効なプログラムを組んでもらい、運動の効果を本人の体感だけでなく、血圧、体脂肪率、（可能であれば血糖値、コレステロール値なども）のデータを管理して本人にフィードバックする。	身体機能の低下した高齢者のフレイル対策も重要だが、それより下の年代、ビジネスパーソンのスポーツ人口を増やし、健康になってもらうことで将来的な医療費の削減効果がある。 行政がそのような取り組みを行うと、単発であったり、週1、月1程度のペースになってしまい、日常生活の中でのスポーツ活動として定着しにくく、例えば、民間事業者のジムで行い、より高頻度に（週3～4回）取り組んでもらい、健康増進の効果を上げていく。 また、連携する民間事業者には、スポーツに取り組み、健康に関する数値が向上した人の数等に応じて支援、補助等インセンティブを付与する。
4	弓ヶ浜公園旧わくわくランドの有効活用について	公園来場者及び隣接するサイクリングロード利用者を対象とした飲食・休憩サービスの提供など、弓ヶ浜公園内の旧わくわくランドエリアの有効活用に係る提案を募集する。	現在ほとんど利用されていない旧わくわくランドエリアの有効活用を検討するにあたり、この度開通したサイクリングロードに隣接していることから、公園利用者だけでなくサイクリングロード利用者も休憩所として利用できるものと考え、例えば飲食店等のスペースとして空間の有効利用が図れると考えている。 なお、弓ヶ浜公園（10.9ha）には入り口側にレストランがあり、一般の方はもとより公園利用者も利用しているところであるが、公園奥には自動販売機はあるものの飲食等のサービスを提供するところがない。 また、懸案事項としては、季節（特に冬季）による利用者数の減少が、出店者の経営に影響することが考えられる。